
倉敷市中心市街地活性化基本計画（概要版）

（第 3 期計画）

岡山県倉敷市

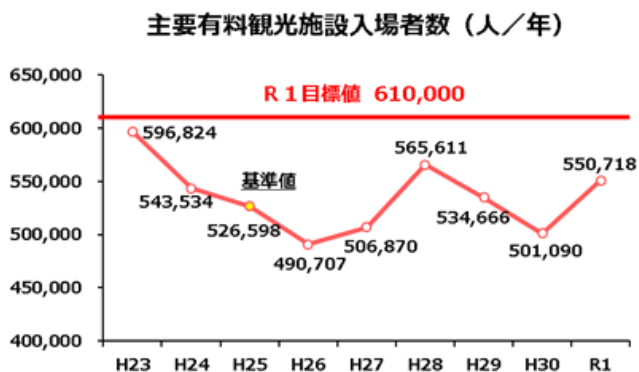
前計画（第2期計画）の概要

- ・計画期間 : 平成27年4月から令和3年3月まで（6年）
- ・区域面積 : 約175ha
- ・基本テーマ : 「世界に誇る伝統文化 居心地のよいまち くらしき」
- ・基本的な方針 : 1 歴史と芸術・文化の香りを楽しむ美しいまちづくり【誇り】
2 都市基盤の整備された便利で持続可能なまちづくり【持続】
3 多様な主体による賑わいと活気のあるまちづくり【交流】
- ・目標 :

基本的な方針	目標	目標指標	基準値	目標値
歴史と芸術・文化の香りを楽しむ美しいまちづくり【誇り】	倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる	主要有料観光施設入場者数（人／年）	526,598 (H25)	610,000 (R1)
都市基盤の整備された便利で持続可能なまちづくり【持続】	歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成する	歩行者・自転車通行量（人／日）	96,263 (H26)	120,000 (R2)
		居住人口（人）	7,983 (H26)	8,800 (R2)
多様な主体による賑わいと活気のあるまちづくり【交流】	まちなかに人を誘導し、交流を促進する	市民交流施設利用者数（人／年）	597,223 (H25)	600,000 (R2)

数値目標の達成状況

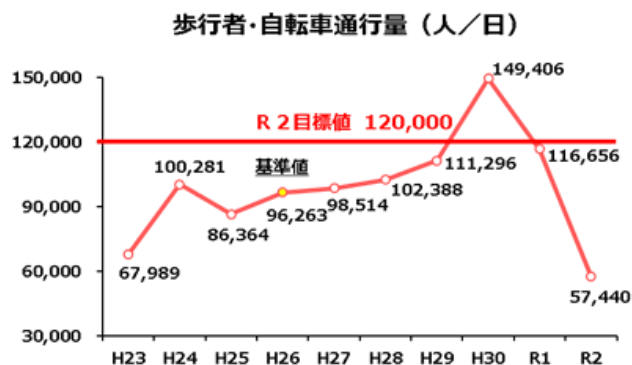
①主要有料観光施設入場者数



増加傾向にある外国人観光客への対応強化等に取り組んだが、平成30年には豪雨災害の影響により観光客が減少し、倉敷美観地区への観光客数が前年比85.6%まで落ち込んだ。令和元年は観光客数が増加し、主要有料観光施設入場者数も増加したものの、目標値には至っていない。

資料：倉敷市「倉敷市観光統計書」より作成

②歩行者・自転車通行量

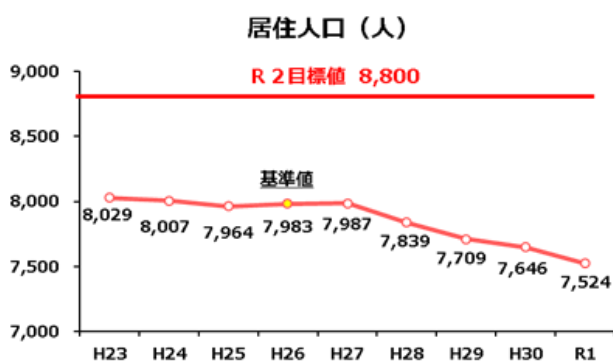


町家・古民家を活用した施設整備や電線類地中化等の取組により、まちに賑わいが創出され、基準年以降は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年に激減した。

※平成30年は豪雨災害の影響により例年と異なる時期に調査したため、参考値として扱う

資料：倉敷市「倉敷市中心市街地通行量調査」、「倉敷市商店街等通行量調査」より作成

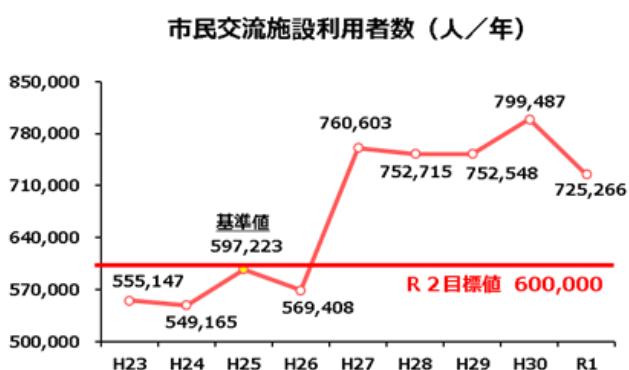
③居住人口



ほぼ横ばいで推移していたが、平成28年以降は減少を続けている。市街地再開発事業等により住宅を整備することで居住人口の増加を見込んでいたが、計画期間内の事業完了が困難となり、目標達成が難しい状況となっている。

資料：住民基本台帳（各年12月末時点集計、基準年（H26）のみ10月末時点集計）より作成

④市民交流施設利用者数



平成27年以降は高い水準で推移しており、目標達成可能であると見込まれる。

資料：倉敷市

中心市街地活性化の課題

①歴史的な町並みの継承

相続や老朽化等により町家・古民家等の伝統的建築物が解体され、歴史的な町並みが失われつつある地域がある。

②便利で快適な居住環境の整備

中心市街地の居住人口は減少傾向にあり、まちなか居住が図られているとは言えない状況にある。

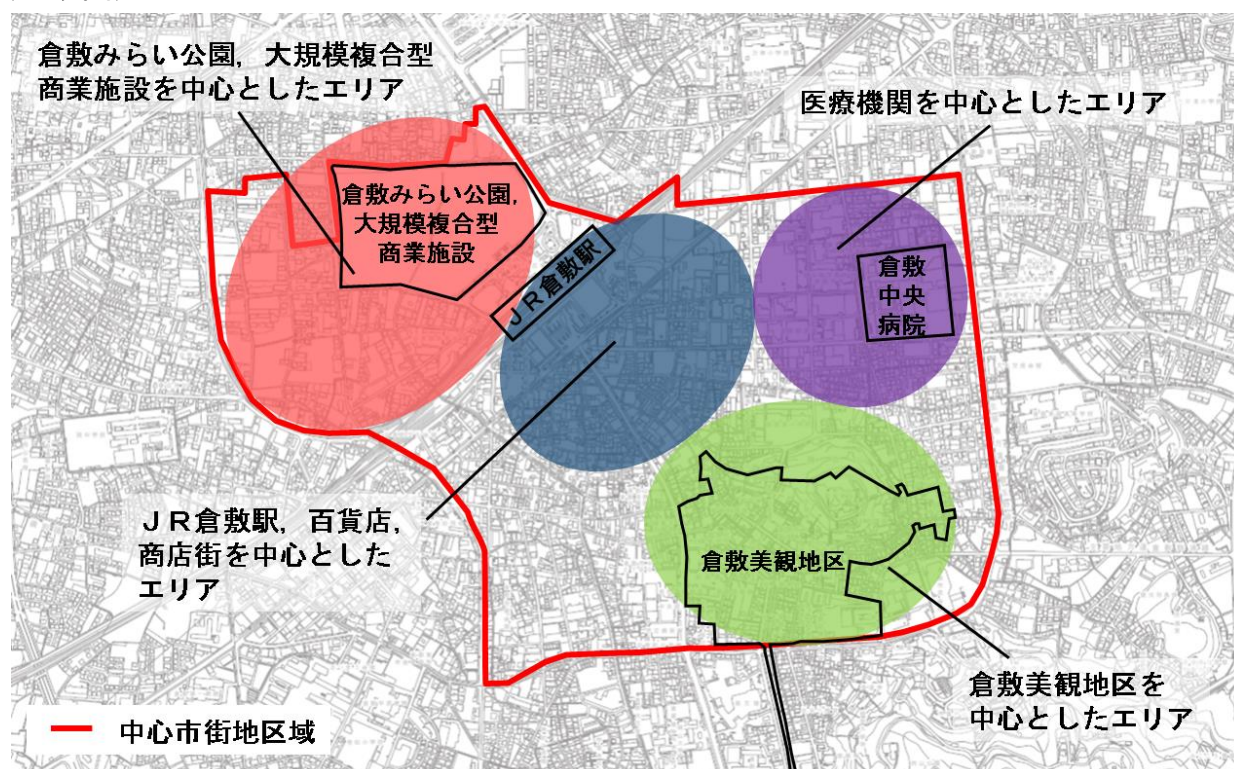
③中心市街地内の交流促進

歩行者・自転車通行量は増加傾向にあるが、主要有料観光施設入場者数や宿泊者数は増減を繰り返しており、創出された賑わいの波及効果がまちなか全体に及んでいない状況にある。

新計画（第3期計画）の概要

- ・ 計画期間：令和3年4月から令和8年3月まで（5年）
- ・ 区域面積：約175ha

（区域図）



中心市街地内に存在する4つの集客エリアそれぞれの魅力を向上し、相乗効果により更なる賑わいと活力を創出する。

前計画に引き続き、官民一体で精力的に中心市街地の活性化を推進する必要があるため、基本テーマ及び基本的な方針を継承し、中心市街地活性化の課題等を踏まえて新たな目標を設定する。

・基本テーマ：

「世界に誇る伝統文化 居心地のよいまち くらしき」

・基本的な方針：

1 歴史と芸術・文化の香りを楽しむ美しいまちづくり【誇り】

倉敷美観地区を中心とした歴史と芸術・文化の継承・再生を図るとともに、拠点施設の魅力の向上などにより美しいまちづくりを行い、来街者とのふれあいを楽しむことができ、市民が誇りを持てるまちを目指す。

2 都市基盤の整備された便利で持続可能なまちづくり【持続】

JR 倉敷駅周辺への都市機能集積や、歩道等のバリアフリー化、まちなか居住の推進、公益施設（病院等）の利便性向上により、便利で持続可能なまちを目指す。

3 多様な主体による賑わいと活気のあるまちづくり【交流】

倉敷美観地区等を訪れる観光客、JR 倉敷駅北の大規模複合型商業施設や、同駅南の商業施設及び倉敷物語館周辺等を訪れる買い物客及び大規模病院の来院者等をまちなかへ誘導することにより、暮らす人、商売を行う人、観光客等、多様な主体が活発に交流・連携できる賑わいと活気のあるまちを目指す。

・目標：

基本的な方針	中心市街地の 活性化の目標	目標指標	基準値	目標値
歴史と芸術・文化の香りを楽しむ美しいまちづくり 【誇り】	歴史的・伝統的資源を活用したまちの魅力向上	町家・古民家再生活用件数（件）	39 (H27～R 1 累計)	45 (R 3～R 7 累計)
都市基盤の整備された便利で持続可能なまちづくり 【持続】	便利で快適な営みのあるまちなかの形成	居住人口（人）	7,507 (R 2)	8,000 (R 7)
多様な主体による賑わいと活気のあるまちづくり 【交流】	人が集い、交流するまちなかの形成	歩行者・自転車通行量（人／日）	57,440 (R 2)	124,000 (R 7)
		来街者の平均滞留時間（分）	98 (R 1)	111 (R 6)

主な事業の概要

○阿知3丁目東地区市街地再開発事業

市街地再開発事業により住宅、店舗、宿泊施設等を一体的に整備し、良好な都市景観、安全で快適な居住環境・都市環境を創造する。市は、地域住民の相互交流や文化交流、コミュニティ活動、創作物の展示等の活動拠点を整備するとともに、公共空地周辺の路面美装化等による高質化を行う。

○倉敷駅周辺第二土地区画整理事業

土地区画整理事業により都市基盤を整備し、建築物の更新と土地の高度利用を促進する。

○【新】倉敷市民会館駐車場活用事業

中心市街地の外縁に位置する倉敷市民会館の駐車場を、施設利用者以外も利用できる市営駐車場として有効活用することで、市民や来訪者の駐車場需要に対処するとともに、中心部への車の流入の抑制を図る。

○倉敷物語館周辺再生整備事業（市所有広場）

倉敷物語館周辺に市が保有する2つの広場（阿知二丁目広場、阿知まち広場）を活用し、拠点としての魅力や機能を高める。

○まちづくりセンター跡地活用事業

JR 倉敷駅南の商店街の中心に位置する「まちづくりセンター」跡地を活用し、賑わい創出機能を有する拠点を整備する。

○町家・古民家再生活用等支援事業

町家・古民家の再生活用や、周辺エリアの活性化を図るまちづくり活動を支援する。

○伝統的建造物群等保存事業

倉敷美観地区における伝統的な建造物の修理や修景等を支援し、歴史的景観を守る。

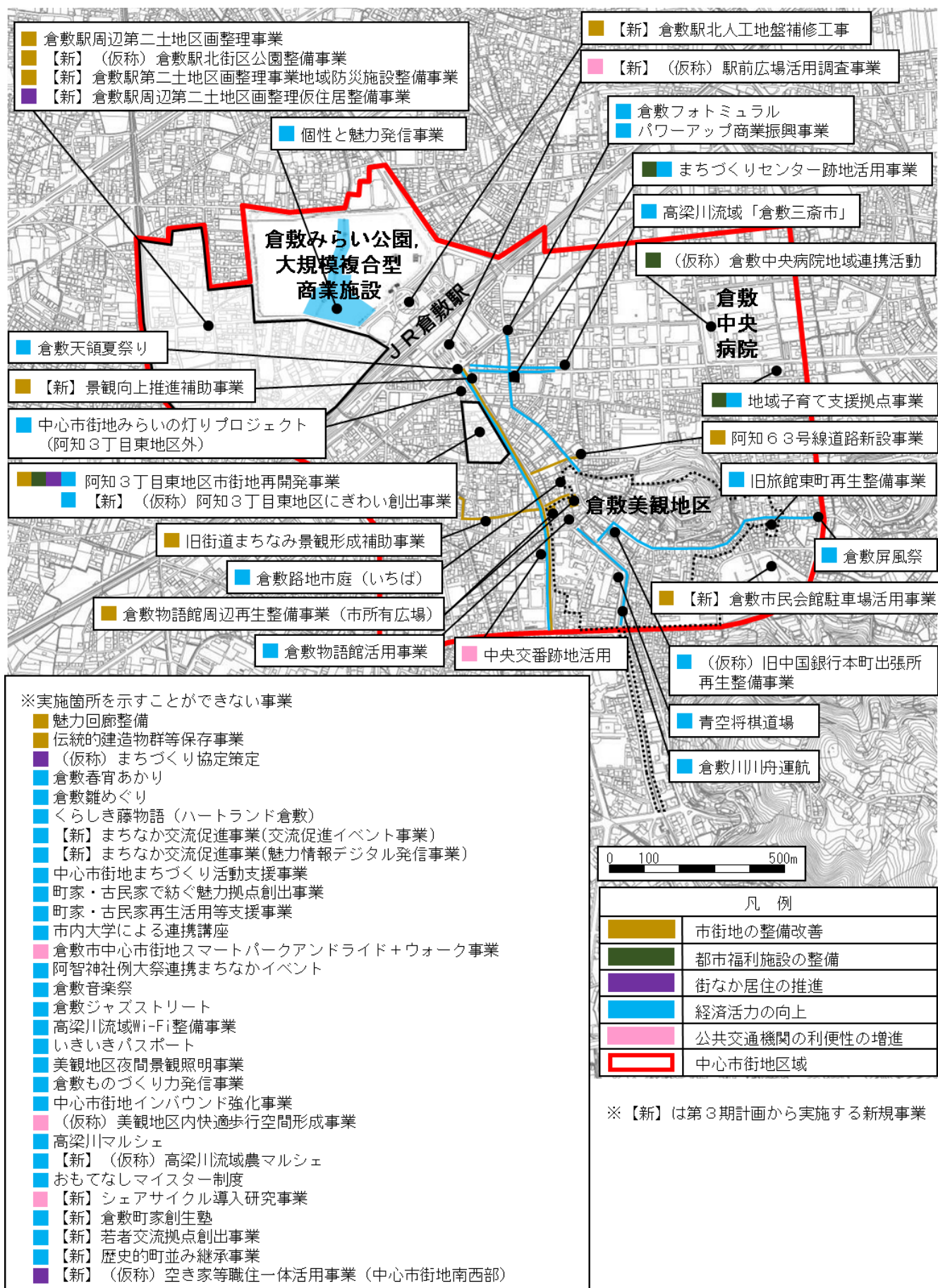
○【新】（仮称）空き家等職住一体活用事業（中心市街地南西部）

民間事業者が主体となり空き家等と入居希望者とをマッチングし、町家・古民家再生活用等支援事業等により、職住を一体とする住宅等を整備する。

○【新】倉敷町家創生塾

民間事業者が主体となり町家・古民家の保存、再生等に関する知識やノウハウを習得する研修を開催し、歴史的な町並みの継承を図る。

事業実施箇所





倉敷市 建設局 まちづくり部 まちづくり推進課

〒710-8565 岡山県倉敷市西中新田 640 番地 TEL : 086(426)3025

倉敷市中心市街地活性化基本計画 URL: <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/37259.htm>